

2019年度_医師の処遇改善に向けた取組と改善計画

当院では医師の労働環境の改善について負担軽減を目指し下記の項目について取組を行っております。

病院勤務医の負担軽減・処遇改善に対する具体的な取組項目		具体的な内容
勤務労働条件の改善	勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	勤務計画段階において連続して当直が割り当てられないよう配慮する。
	予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	手術予定前日に業務が輻輳する当直が割り当てられないよう計画時に配慮する。
	当直翌日の業務内容に対する配慮	当直翌日の業務については軽減されるよう担当など計画段階で配慮する。
	短時間正規雇用医師の活用	育児等の事由のある医師については、当直業務の対象としないなど業務内容に配慮する。
	非常勤医師・応援医師の活用	外部（大学等）より医師を派遣・採用し日直および当直を依頼することで当院常勤医の負担が軽減されるよう配慮する。
地域の医療機関との役割分担	診療連携の締結	香川大学医学部付属病院および香川労災病院とがん治療連携、香川労災病院と地域診療計画（脳卒中）を締結し、治療段階に応じた患者の紹介・逆紹介が円滑に行われるよう努める。
	連携体制の構築	紹介患者について紹介元の医師と相談し、事前に検査予約等を行うことで診療が円滑に行われるよう努める。